

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

**[実践報告]** A救命センターICUにおける人工呼吸器装着患者の身体拘束状況調査

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 桑原美香(看護部、急性・重症患者看護専門看護師)

[研究の概要]

2001年より厚生労働省推進のもと、身体拘束ゼロの取り組みがされてきました。救命センターICUにおいても身体拘束最小化に取り組んでいます。人工呼吸器を装着している患者さまに対しても、看護師・医師との協力のもと、身体拘束最小化に取り組んできました。この研究では、2020年4月から12月までの9ヶ月間、ICUに入院した患者さまの身体拘束状況、特に、人工呼吸器を装着した患者さまの身体拘束状況について調べ、取り組みの成果と今後の課題について検討したいと考えています。

■目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2021年5月

目的：A救命センターICUにおける人工呼吸器装着患者への身体拘束について調査し、身体拘束最小化の取り組みについて検討します。

方法：A救命センターICUに入院した患者さまの診療録から、9ヶ月間のICU入院総数、診療科、疾患、年齢、人工呼吸器装着の有無、人工呼吸器装着期間、鎮静薬使用の有無、身体拘束対象者数、身体拘束具の種類、身体拘束期間等についてデータ収集し、集計結果を検討します。

■対象となる患者さん

2020年4月～12月に当院で救命センターICUに入院した患者さん

■研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録(診療科、疾患、年齢、人工呼吸器装着の有無、人工呼吸器装着気管、鎮静薬使用の有無、身体拘束対象者数、身体拘束具の種類、身体拘束期間等)

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

桑原美香 看護部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971